



第17号
発行
姉崎小学校区
小域福祉ネットワーク
会長 脇田 靖
編集：広報部会



皆さんの笑顔とともに……一年

サロンも開設から1年以上経過し、だいぶ皆様に認知されてきたように感じます。最近では、定員の36名に達することもありました。さて、サロンの開設を考えましたのは、「健康寿命」という言葉を聞いてからです。「平均寿命」と比較して女性は12歳、男性は9歳健康寿命の方が短い。この健康寿命を延ばすためには、「集う」「食べる」「歩く」の3原則を実行することと教えられました。3原則に最適なものが「サロン」です。是非地元でできないか検討いたしました。実施に向けてスタートしましたが、場所とスタッフがなかなか決まりませんでした。

平成27年「電器のAZ」さんが店舗を改装されていたので、使用目的などについて確認に行きました。私の考えをご理解いただき、まずは月1回お借りすることになりました。次にスタッフをどう集めるかでした。小域福祉ネットワークの会議を「だんわ室」で開催し、現場を見ながら役割分担、人数などを決め、経費削減のため湯飲み茶碗などは寄付してもらい、机や椅子はアネッサから毎回借りることになりました。

平成28年1月20日に第1回目を開催することができました。お客様がお帰り時に「楽しかったよ」「また来るからね」というお言葉に今までの苦労も吹き飛んだような気がしました。毎回来られている方が3分の1ほどいらっしゃいますが、ますますお元気になっておられるような気がいたします。これからも回数を増やせないか、催し物がマンネリにならないように等々考えていきたいと思っております。（中島宗光）



サロン「だんわ室」をふりかえって (田丸恵子)

昨年の1月から始めたのかと思いつつ、もう一年も経ったんだ。と感じています。

脇田会長・中島副会長・相川子ども部会長の強力な3人組(同級生・幼なじみ……?)の話に取り込まれるように「机上で考えるより、行動を起こさないと!」と思い、とにかく「やってみてダメだったらその時考えれば良い」と、深く考えずに始めた記憶があります。企画と場所の設定は男性メンバーが考えて、女性メンバーは、300円の参加費を頂くのだからお茶菓子は何に…?、来て頂く高齢者に気持ちよく、参加してよかったなと思ってお貰えるようにメンバー全員の頭脳を借り、それぞれのキャリアを活かし、やっとうにかハイハイの赤ちゃんがヨチヨチ歩きのところまで来た気がします。

これからは、誰でも参加しそして運営できる、健康寿命を延ばす楽しい会になったら良いと思います。



サロンへようこそ (齋藤浩子)

毎月第三水曜日に仲町郵便局近くの「だんわ室」で開催されているサロンも、この4月で15回目を迎えました。手探り状態でのスタートでしたが、1年を過ぎやっとな軌道に乗ってきたところでしょうか？月替わりのテーマに沿って、地元姉崎の歴史や身近な薬の話又、参加者の皆さんと一緒に歌あり、踊りあり等々、約2時間楽しく過ごしていただいているようです。改善点も多々ありますが、このサロンを皆さんの「お出かけの場」の一つに加えていただければ・・・と思います。美味しいお菓子とお茶を用意して、スタッフ一同お待ちしております！！

「大俵桜」 好天の中、みんなと楽しいひとときを過ごしました



大俵桜にて野外サロン

脇田 靖

高齢者向け交流サロンを開設して1年余りが過ぎた。人気が高くお陰様で毎月満席である。3月は片又木の丘の上を一人で開墾して桜の名所を作っている谷垣氏に講演を依頼した。一人で広い竹林を開墾し、そこにあった樹齢300年を超える桜を中心にした公園を作り公開している。昨年は5000人が訪れたようだ。今年はその倍以上になる見込みらしい。最初は一人で作業をしていたが、そのうちに賛同者が集まり、今は10人余りのメンバーで維持管理している。サロンでは数人で開墾した時の苦労話等を聞かせてもらい好評だったので、和光苑さんのご厚意でバスが用意でき、初めて野外でサロンを開き、簡単なピクニックをおこなった。桜の満開には少し早かったが晴天に恵まれ、楽しいひとときを過ごしてもらった。年に1～2回はこのような企画を立てるのも良いかもしれない。



お知らせ

高齢者向け交流サロン(だんわ室)

開催日
7/19(水)「姉崎の歴史③」
8月は、お休み
9/20(水)「ハーモニカ演奏」

